

## 令和4年度逗子市廃棄物減量等推進員委嘱式及び会議 開催概要

- 【日 時】 令和4年8月2日（火）10時から正午まで
- 【場 所】 逗子市役所5階第2・3・4会議室
- 【出席者】 逗子市廃棄物減量等推進員41名（欠席24名）  
（市）桐ヶ谷市長（委嘱式のみ）  
環境都市部 石井部長、青柳次長  
資源循環課 中村課長、森下係長、今村主事、佐藤主事  
環境クリーンセンター 小川所長、鷺原副主幹、山道主事
- 【内 容】 逗子市廃棄物減量等推進員の職務について  
生ごみの分別収集・資源化に関する制度設計（案）について  
その他  
・ボランティア清掃用ごみ袋の使い方について  
・逗子市のごみ分別アプリ「さんあ〜る」について  
・家庭用生ごみ処理容器等購入費助成について  
質疑・応答

### 主な質疑応答

➤ 逗子市廃棄物減量等推進員（以下、「推進員」という。）の職務について

- Q. 推進員の活動はどのように市に反映されるのか。
- A. ごみステーションパトロール報告書（以下、「パトロール報告書」という。）に基づき、適宜資源循環課と環境クリーンセンターとで情報共有を図っており、違反が多いごみステーションについては重点的にパトロールを実施している。
- Q. パトロール報告書はどのくらいの頻度で提出すればよいのか。
- A. 市としては毎月報告いただけると状況を把握しやすいが、無理のない範囲で提出していただいで構わない。また、提出方法は直接提出やメール等出しやすい方法で構わない。
- Q. パトロール報告書の場所には、ごみステーション一つひとつの住所を記入しなければならないのか。
- A. 住所を書いていただくのが望ましいが、近隣の目印など分かるように書いていただければ問題ない。推進員の中には、独自に番号を振って管理されている方もいる。その場合は市にも対応している地図を一緒に提出していただいた

い。またステーションの件で連絡する際は、最寄りの住所や表札の名前を伝えていただきたい。

Q. ごみステーションの清掃は、推進員の職務か。

A. ごみステーションの管理は利用者が行うものであるため、職務か否かという質問については、推進員の職務ではない。

Q. 違反ごみが出されていた場合は、推進員が片付けてよいのか。

また、排出者が判明した場合は、推進員から注意してよいのか。

A. 環境クリーンセンターが対応するため片付けずに連絡してもらいたい。排出者が判明した場合も環境クリーンセンターが直接指導するため、推進員から注意しないでほしい。

Q. ふれあい収集制度は、周知されているのか。

A. 本制度は、障がいや高齢等で自身でゴミ出しができない方を対象に環境クリーンセンター職員が安否確認を兼ねて自宅まで収集に伺うものである。

対象者は介護サービスや障がいサービスを利用されている方がほとんどで、担当のケアマネジャーから申請書を提出されることが多い。居宅介護支援事業所には周知している。

なお、ふれあい収集の開始には事前審査が必要なため、申し込みの際は環境クリーンセンターへ連絡してもらいたい。

Q. 地図の●や■がごみステーションの場所ということでよいのか。

A. そのとおりである。●が可燃系ステーション（燃やすごみ、容器包装プラスチック、草・葉・植木ごみ）、■が不燃系ステーション（不燃ごみ、ペットボトル、あきびん、危険有害ごみ、小型家電、新聞、雑誌、段ボール、飲料用紙パック、ミックスペーパー、布類、アルミ缶、スチール缶、家庭金物）である。ごみステーションの移動等があった場合は随時更新しているため、最新の状況になっている。

➤ 生ごみの分別収集・資源化に関する制度設計（案）について

Q. ごみステーション内で燃やすごみと生ごみとを区別して出しても混ざってしまう。生ごみ専用のボックスを作る等を考えているのか。

A. 生ごみの出し方はまだ決定しているわけではないため、市民や推進員の皆様の意見をいただきながら、より良い制度としていきたい。

Q. 生ごみから生成した堆肥はどのように配るのか。

A. 現状の植木剪定枝から生成した腐葉土と同様の配布方法を考えている。

➤ カラス対策に関する意見

- ・ネットボックスの内側にプラスチック製の板を張れば、漁られないのではないかな。
- ・ネットボックスいっぱいにごみが入っているごみステーションは、ネットの隙間からカラスに漁られることがある。カラス対策として独自のボックスが必要ではないか。
- ・ネットを使用しているごみステーションでは、カラスにネットをめくられて漁られることがあるため、生ごみをコンテナに入れるだけでなくネットをめくられないような対策も考えてほしい。

➤ モデル事業の資源回収用ネット容器について

Q. モデル事業で実施した資源回収用ネット容器が古くなってしまった。モデル事業を再開してもらえないか。

A. 所管課としては、資源回収用ネット容器の普及を考えている。予算要求の前段階で、5月の市長ヒアリングに案件を提出した。今後、事業査定、予算査定への提案を考えている。議会の議決が必要なため、現段階で予算化できるとは言えないが、所管課としても再開できるように動いている。

➤ ボランティア袋の使い方について

Q. ボランティア袋には、家庭ごみが混入していた場合は収集しないと書いてあるが、散乱したごみに家庭ごみが混ざっていた場合、誤った使い方と勘違いされ収集されないことがある。

A. 収集作業員が散乱ごみを片付けたものではなく、誤った使い方をしたものと判断してしまったためだと思われる。収集時に確認しているが、家庭ごみとの見分けがつきづらい場合は、散乱ごみを片付けたものとわかるようメモを張り付けていただく等のご協力をお願いできればと思う。今後は収集漏れがないようにしていきたい。またボランティア袋であっても分別されていないものは収集しないため分別をお願いする。

➤ ネットボックスについて

Q. ネットボックスを新設（新規購入）する際は、2万円の補助金が出るということか。

A. すでに設置しているものを更新する場合は（株）パブリックサービスから1万

円の補助金が出る。

新設する場合は、市からの補助金が1万円、(株)パブリックサービスからの補助金が1万円の合計2万円である。

なお、いずれも申請が必要であり、新設の場合は現地確認を行うため、必ず事前に環境クリーンセンターに連絡してほしい。

➤ 生ごみ処理容器等購入費助成について

Q. 生ごみ処理容器のサイズ等がわかるチラシがあると、具体的に購入を検討しやすい。

A. 今後の市民説明会等で希望者に渡せるよう準備したい。